第１３号の１８様式（第１６条の３関係）

|  |
| --- |
| 建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書（標準計算法用）（第１面）　　　　年　　月　　日　　品川区長　あて申請者氏名　　　　　　　　　　　　　（法人にあつては、代表者の氏名）　　申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則第５条（同規則第９条第２項において準用する場合を含む。）に規定する軽微な変更がありましたので、報告します。 |
|  | １　住宅の名称 |  |  |
| ２　住宅の所在地 |  |
| ３　省エネ適合性判定年月日・番号 |  |
| ４　変更の内容 |
| 　□Ａ　省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更　□Ｂ　一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更　□Ｃ　再計算によつて基準適合が明らかな変更（建築物の用途や計算方法の変更を除く。） |
| ５　備考 |
|  |
| （注意）１　この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画に軽微な変更があつた場合に、完了検査申請書の第３面の別紙として添付してください。２　「４　変更の内容」において、Ａのチェックボックスに「レ」マークを入れた場合には第２面に、Ｂのチェックボックスに「レ」マークを入れた場合は第３面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Ｃのチェックボックスに「レ」マークを入れた場合には軽微変更該当証明書およびその申請に要した図書を添付してください。 | 受付欄 |
|  |
|  |

|  |
| --- |
| （第２面）［Ａ　省エネ性能等を向上させるまたは当該性能に影響を及ぼさない変更］ |
|  | ・変更内容 |  |
| 次の①から④までに該当する変更□①外皮の各部位の熱貫流率もしくは線熱貫流率もしくは日射熱取得率が増加しない変更（外皮面積が変わらない場合に限る。）または開口部面積が増加しない変更□②通気等の利用によりエネルギー消費性能が低下しない変更□③空気調和設備等の効率が低下しないまたは損失が増加しない変更（制御方法等の変更を含む。）□④エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設または増設 |
| ・上記変更内容についての具体的な内容 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）　１　該当する変更内容の全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。　２　「レ」マークを入れた項目については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| （第３面）［Ｂ　一定範囲内でエネルギー消費性能を低下させる変更］ |
|  | ・変更前のＢＥＩ＝（　　　　　　　)≦０．９ |  |
| ・変更内容　次の①または②に該当する変更 |
| □　①　床面積 |
| 主たる居室、その他の居室または非居室の床面積について、それぞれ１０％を超えない増減 |
| ・変更前のUA値＝（　　　）≦（　　　）×０．９、変更前のηAC値＝（　　　）≦（　　　）×０．９ |
| □　②　外皮に係る変更で以下のいずれか |
| □　開口部の面積増加分が外皮面積の合計の１／２００を超えない変更□　変更する開口部面積が外皮面積の合計の１／２００を超えない場合の断熱性能、日射遮蔽性能もしくはその両方が低下する変更または日射遮蔽部材をなくす変更□　変更する外皮の面積の合計が外皮面積の合計の１／１００を超えない場合の開口部以外の外皮の断熱性能が低下する変更□　基礎断熱の基礎形状等の変更 |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）　１　該当する変更内容の全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。　２　「レ」マークを入れた項目については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |
|  |